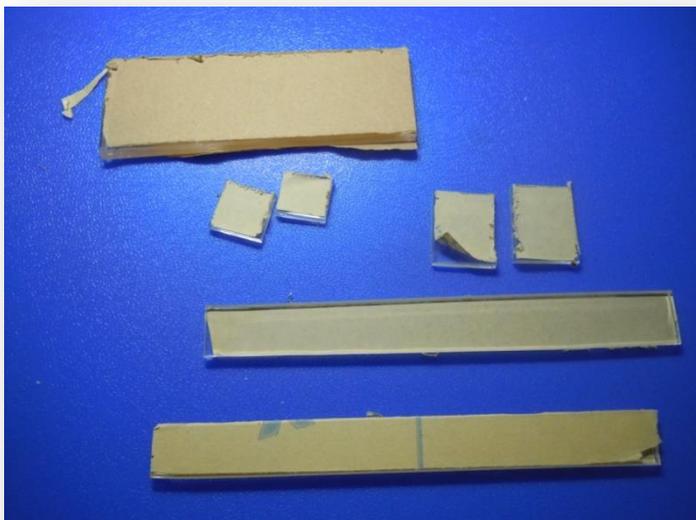


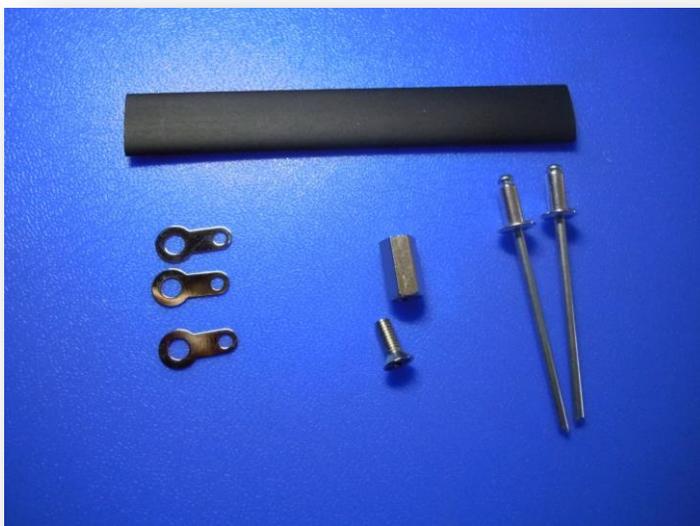
アクリル板パドルの製作

アクリル板工作の簡易なパドルです。金属製のような重厚感はありませんが、モールス符号を生成する機能は十分あると思います。いろいろな試行錯誤の末、このような形になりました。とてもシンプルな構成になっています。製作の参考になれば幸いです。



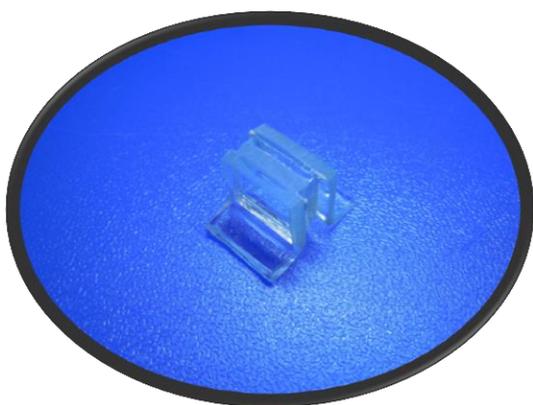
アクリル板は 2mm 厚のものを使いました。この厚さで幅 10mm 程度のレバーがしなり具合がちょうど良いと思います。操作した時のフィーリングはレバーの支点からの長さで決まります。自分に合った寸法を決めてください。

私の場合はレバーの全長を 60mm、支点のパーツが 12mm、支点から接点までが 45mm で構成しています。レバーになる素材を切り出し、全長を取ったら、残りの部材で支点のパーツを作ると良いと思います。基台はどのようなものでも大丈夫です。アクリルスタンプ台のようなものも使えますし、手近になるものでよいでしょう。私は 3mm 厚のアクリル板を使いました。



その他に必要なものです。
ラグ端子、
ロングナット 10mm
ビス
ブラインドリベット
熱収縮チューブ

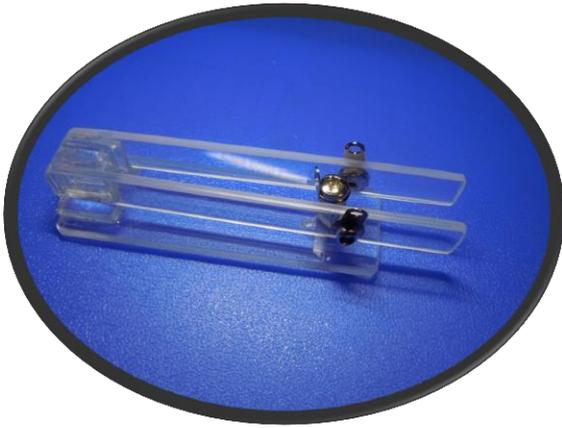
写真にはありませんがリグに接続するためのステレオプラグ付 3 芯コード



レバーの支持パーツは 2 枚の小片を接着し、それを挟むように基台と接続するためのアクリル板を接着します。そして基台に接続するための脚を成形するためにホットガンなどで熱を加え、脚の部分が柔らかくなったら、平らな面に押し付けて形を調えます。



レバーは細いので穴を開ける時慎重に行います。所定の穴を開け、ラグ板をかしめるようにブラインドリベットを取り付けます。



支持パーツにレバーを接着します。このとき、レバーが基板に取り付けたとき水平になるよう注意します。

レバーの間隔は4枚の亚克力板が挟まれることになり、そこにロングナットを設置することで接点を構成します。

ロングナットは基台にビスを使って固定するので、基台に穴を開けます。接点間隔の調整ができるよう、この穴を長型にしておき、ロングナットをスライドできるようにします。

位置を見ながら基台とレバー支持パーツを接着します。

レバー支持パーツの下側を通して、コードを入れ、3本の線をラグ板にハンダ付けします。あらかじめ予備ハンダをしておき、短時間でハンダ付けを行います。亚克力板は熱に弱いのでハンダ付けができないのではと危惧しましたが、短時間で手際よく行えば大丈夫でした。

レバーの指が触れる部分に熱収縮チューブを被せ、熱処理をして固定します。

手で握っての操作になると思いますので、亚克力板でカバーをつくり被せるとさらに操作しやすくなると思います。

柔らかく軽い素材である亚克力板ですので耐久性には課題があるかと思いますが、通常の使用には十分使えるものだと思います。わずかな部品で簡単な工作で楽しめる自分だけのパドルです。自作ハムライフをお楽しみください。